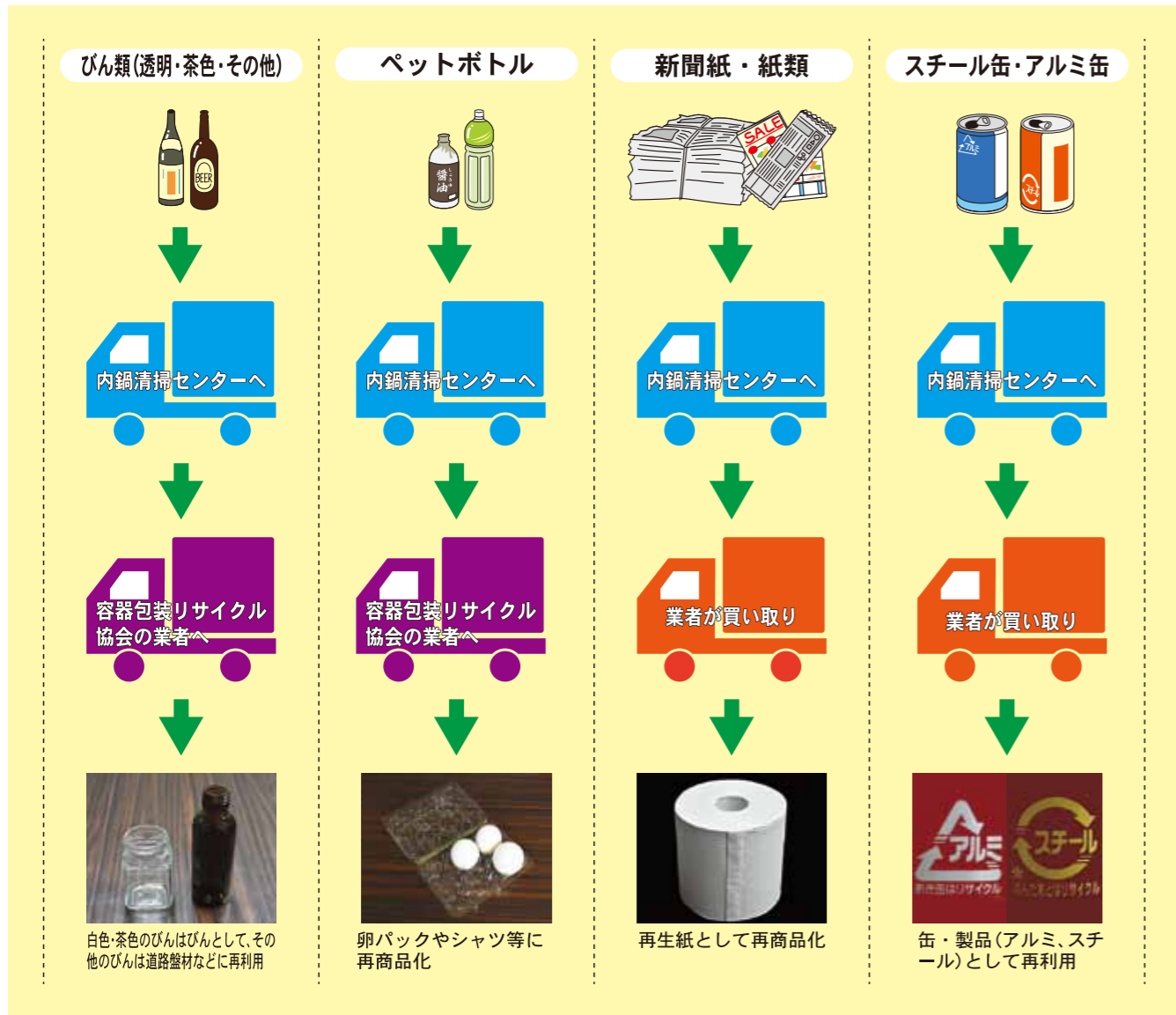


●資源ごみがリサイクルされるまで



内鍋清掃センターで資源ごみの分別をする作業員

ごみの収集で火災が発生
 平成21年3月2日、南薩地区衛生管理組合内鍋清掃センターで火災が発生し、粗大ごみ処理施設の破砕物コンベアや磁選機等に大きな被害が出ました。火災の原因

もなりました。
 収入が増えることで、南薩地区衛生管理組合の構成各市が毎年負担している「負担金」も減額となり、市としての負担が減ることになりました。



火災が発生した内鍋清掃センター(平成21年)

はライター・乾電池などの火災発火物と推測されます。
 また、昨年度には資源ごみとして出された缶の中に残っていたガスに、何らかの原因で火花が飛び、ごみ収集車内で火災が発生した事案も発生しています。

11月は不法投棄防止強化月間です

ここ数年、道路や空き地などへのごみのポイ捨て、大型ごみや電気製品を適正に処理せず、海岸へ廃棄されるなど不法投棄がみられます。
 不法投棄は重大な犯罪です。5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方の罰則が科せられます。絶対に止めましょう。



道路沿いに捨てられていたごみ

分別した資源ごみはどうなるの
 分別された資源ごみは、その大部分がそれぞれ新たな商品や製品として生まれ変わります。
 私たちの毎日の生活から出るごみ。市では限りある資源と地球環境を守るため、さまざまなごみについて分別収集を行っています。これから年末年始にかけてごみが多く出る時期です。分別のことに、もう一度考えてみましょう。

●資源ごみの売却金と拠出金(枕崎市分)

ごみの種類		平成26年度	平成27年度
売却金	鉄類(スチール、アルミ)	1,531万6,592円	1,095万5,467円
	紙類(段ボール、新聞紙、雑誌その他の紙、紙パック)	623万6,284円	711万7,469円
	その他(発泡スチロール、一升びん・ビールびん等の生きびん)	43万6,528円	33万7,487円
	計	2,198万9,404円	1,841万4,233円
リサイクル協会からの拠出金	ペットボトル	278万4,266円	198万3,407円
	廃プラスチック	6万5,510円	7万6,404円
	雑びん	140円	0円
	計	284万9,916円	205万9,811円
合計		2,483万9,320円	2,047万2,344円

変わっています。
 例えば、ペットボトルはシャツ・布団・保護シートなどの繊維製品として、新聞・雑誌・段ボールは再生紙として再商品化されます。このように、ごみをきちんと